

Market Watching

発表日: 2020年1月20日(月)

企業は先行きに光明を見つけているか(マーケットウィークリー)

～先行きの景気・業績回復を求める株式市場～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
1月13日(月)	—				
1月14日(火)	日本: 国際収支統計(11月)・経常収支	+14,368	+14,233	+18,168	億円、原数値
	日本: 景気ウォッチャー調査(12月)・先行き判断DI	45.4	46.9	45.7	
	中国: 貿易統計(12月)・輸出	+7.6%	+1.9%	▲1.3%	前年比
	・輸入	+16.3%	+9.5%	+0.5%	前年比
	米国: 消費者物価指数(12月)・総合	+2.3%	+2.3%	+2.1%	前年比
	・コア	+2.3%	+2.3%	+2.3%	前年比
1月15日(水)	ユーロ: 鉱工業生産(11月)	+0.2%	+0.3%	▲0.5%	前月比
	米国: NY連銀製造業景気指数(1月)	+4.8	+3.5	+3.5	ポイント
1月16日(木)	日本: 企業物価指数(12月)	+0.1%	+0.1%	+0.2%	前月比
	日本: 機械受注統計(11月)・船電除く民需	+5.3%	▲5.4%	▲6.1%	前年比
	米国: 小売売上高(12月)・全体	+0.3%	+0.3%	+0.2%	前月比
	・除自動車	+0.7%	+0.5%	+0.1%	前月比
	米国: フィットウェル連銀製造業景況感指数(1月)	+17.0	+3.8	+0.3	ポイント
	トルコ: 金融政策委員会	11.25%	11.50%	12.00%	1週間物レボ金利
	南ア: 金融政策委員会	6.25%	6.50%	6.50%	平均レボレート
1月17日(金)	中国: 実質GDP(10-12月)	+6.0%	+6.0%	+6.0%	前年比
	中国: 鉱工業生産(12月)	+6.9%	+5.9%	+6.2%	前年比
	中国: 小売売上高(12月)	+8.0%	+7.8%	+8.0%	前年比
	中国: 固定資産投資(12月)	+5.4%	+5.2%	+5.2%	年初来前年比
	米国: 住宅着工件数(12月)	160.8	137.8	136.5	万件
	米国: 鉱工業生産指数(12月)	▲0.3%	+0.1%	+1.1%	前月比
	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数(1月速報値)	99.1	99.0	99.3	ポイント
1月18日(土)	—				
1月19日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.822	+0.2	▲6.3	▲100.5	1.587	1.594	1.759
日本	-0.005	+0.0	+1.0	▲0.5	-0.012	-0.077	-0.121
ドイツ	-0.215	▲1.6	+8.0	▲45.8	-0.228	-0.314	-0.332
豪州	1.177	▲7.7	+2.0	▲110.4	1.255	1.159	1.260
株価							
NYダウ	29348.10	+1.8	+3.8	+20.4	28672	27854	26943
日経平均	24041.26	+0.8	▲0.1	+17.8	23778	23218	22063
ユーロSTOXX50	3808.26	+0.5	+1.7	+24.1	3769	3685	3532
上海総合	3075.50	▲0.5	+1.8	+20.2	3048	2970	2956
為替相場							
ドル/円	110.17	+0.6	+0.6	+0.8	109.30	108.89	108.56
ユーロ/円	122.16	+0.4	+0.1	▲1.8	121.74	120.77	120.90
豪ドル/円	75.73	+0.3	+0.9	▲3.6	75.61	74.66	74.78
ユーロ/ドル	1.1091	▲0.3	▲0.5	▲2.6	1.114	1.109	1.114
商品市況							
WTI	58.54	▲0.8	▲3.9	+12.4	60.75	57.78	57.67
金	1560.3	+0.0	+5.8	+20.7	1524	1494	1437

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (1/13~1/17) の金融市場は、週内に発表された経済指標の多くが市場コンセンサスを上回り、景気に対する楽観的な見方を支えに、世界的に株高傾向が続いた。米中が第1段階合意に調印したことも市場の安心感に繋がった。経済指標では、12月の小売売上高が好調な結果となったほか、NY連銀やフィラデルフィア連銀の景況指数が予想を上回ったことで、景気の減速にも歯止めがかかる期待が高まった。中国では、10~12月期の成長率は予想通りの結果となり、引き続き中国経済が低迷していることが示されたものの、輸出や生産の伸びが持ち直していることで、先行きの回復に対する期待感が高まった。

今週のマーケットは、日欧で金融政策の決定会合が行われるものの、とくに政策変更は見込まれておらず、大きな材料には欠ける。株式市場では、10~12月期の企業業績の発表が徐々に本格化する。底入れから持ち直しへの兆候が見えてくるかどうかポイントで、明るい景況感のもとでは実績が弱めでもネガティブな反応は限定的にとどまろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
1月20日(月)	—				
1月21日(火)	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 ・日銀総裁記者会見	★★	— —	▲0.10% 0.00%	日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り
1月22日(水)	アメリカ：金融政策委員会 米国：中古住宅販売件数(12月) カナダ：金融政策委員会	★ ★ ★	3.00% 542 1.75%	3.00% 535 1.75%	翌日物政策金利 万件 翌日物貸出金利
1月23日(木)	日本：貿易統計(12月)・輸出 ・輸入 ・貿易収支 インドネシア：金融政策決定会合 ノルウェー：金融政策委員会 ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金ファシリティ金利 ・ラガルド総裁記者会見	★★ ★ ★ ★★ ★★ ★★★	▲4.2% ▲2.7% ▲1,616 5.00% 1.50% 0.00% ▲0.50%	▲7.9% ▲15.7% ▲821 5.00% 1.50% 0.00% ▲0.50%	前年比 前年比 億円 7日物リハースレボ金利 中銀預金金利
1月24日(金)	日本：全国消費者物価指数(12月)・総合 ・除生鮮食品 ユーロ：PMI製造業景気指数(1月)	★ ★★★	+0.7% +0.7% 46.8	+0.5% +0.5% 46.3	前年比 前年比 ポイント
1月25日(土)	—				
1月26日(日)	—				

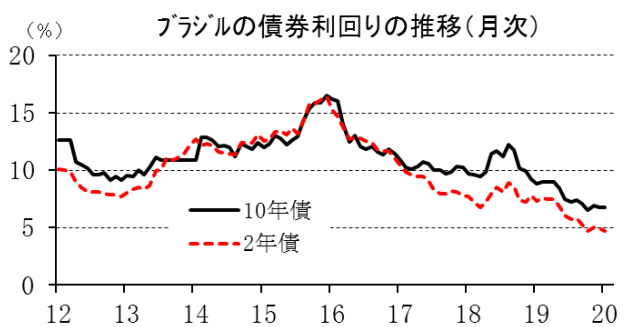
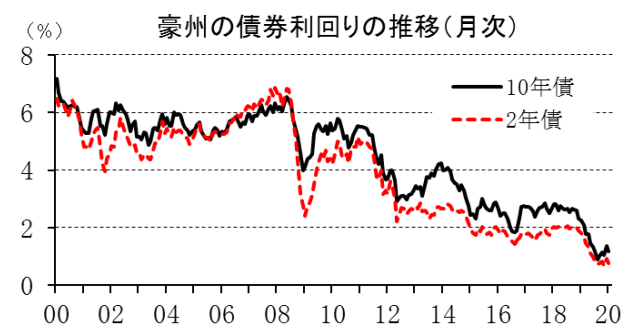
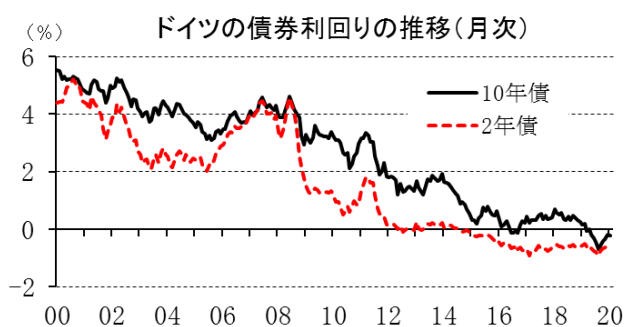
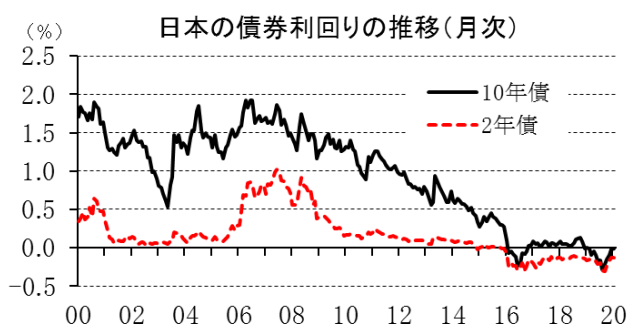
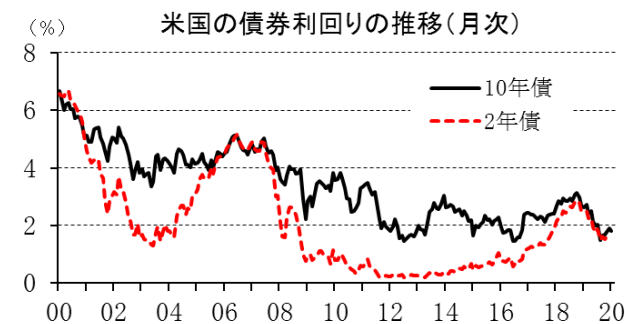
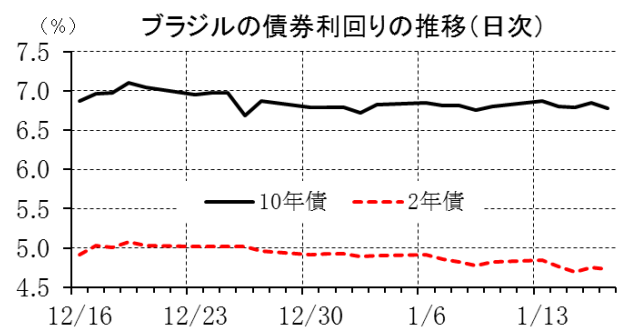
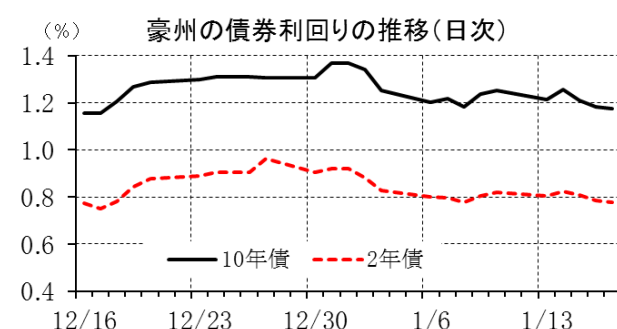
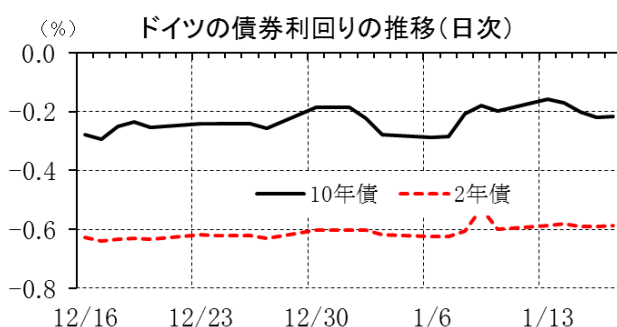
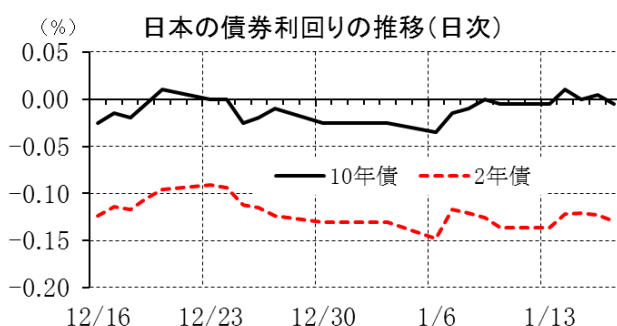
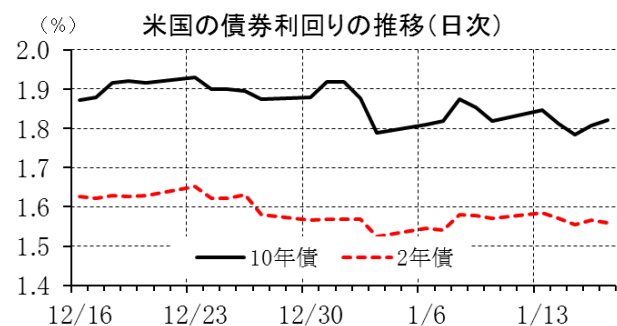
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

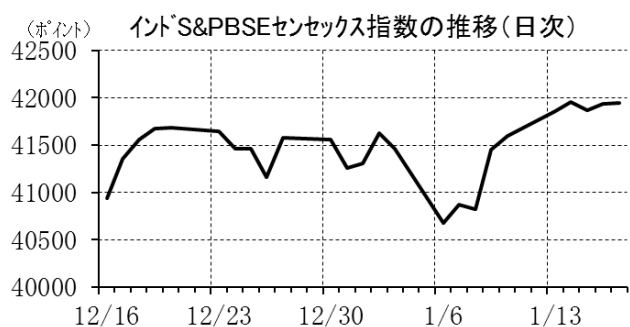
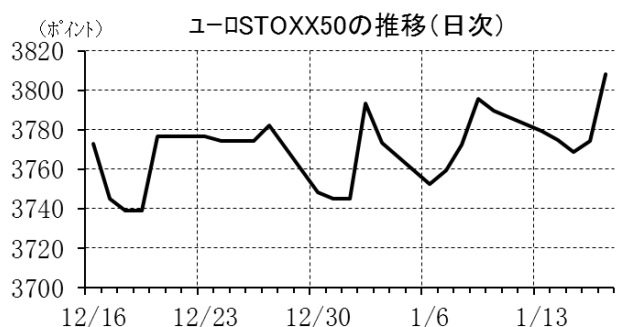
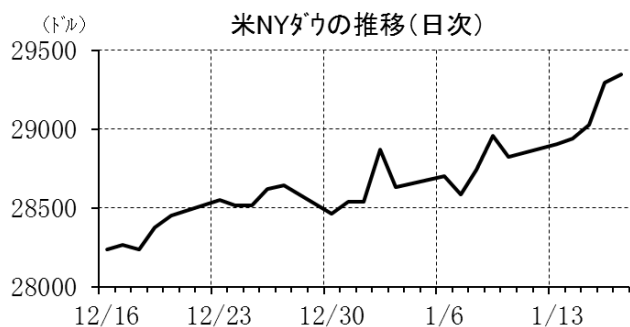
発表日	イベント	注目度	備考
1月20日(月)	日本：通常国会召集 米国：祝日 IMF世界経済見通し	★	
1月21日(火)	世界経済フォーラム年次会合(ダボス会議)(~1/24) 日本：日銀展望レポート	★	
1月22日(水)	日本：月例経済報告		
1月23日(木)	—		
1月24日(金)	日本：金融政策決定会合議事要旨(12月分) 中国：祝日(春節)(~1/30)		
1月25日(土)	—		
1月26日(日)	ベルギー：議会選挙		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

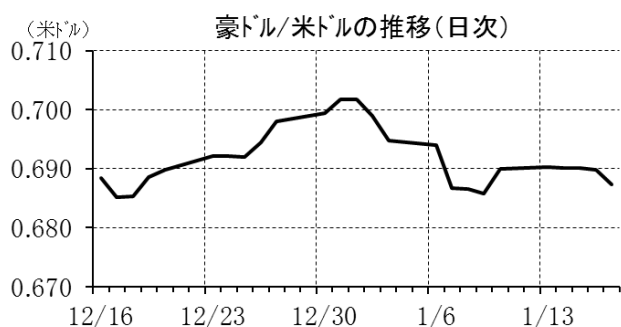
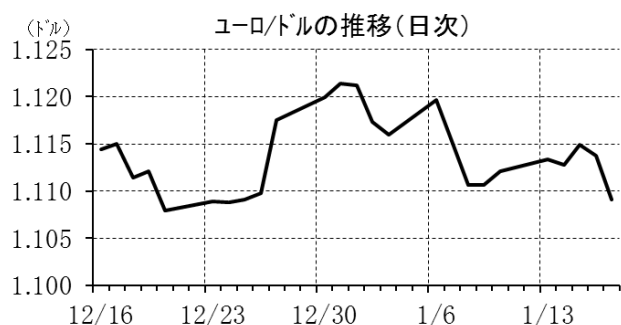
【債券利回り】



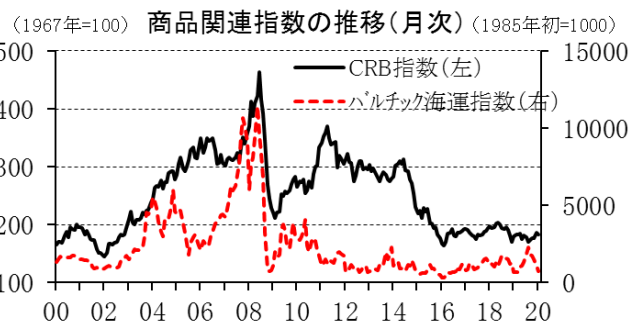
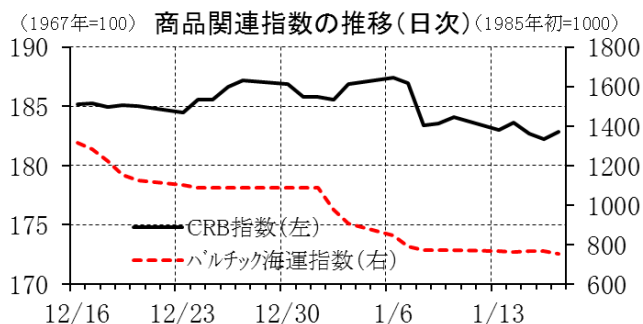
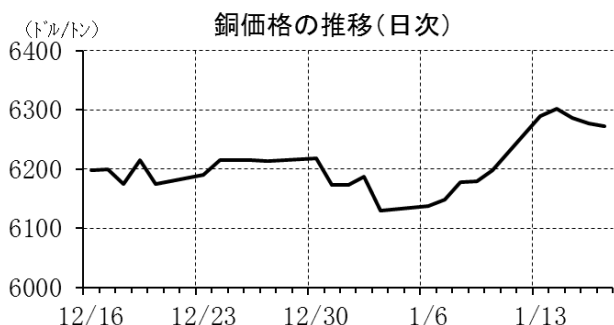
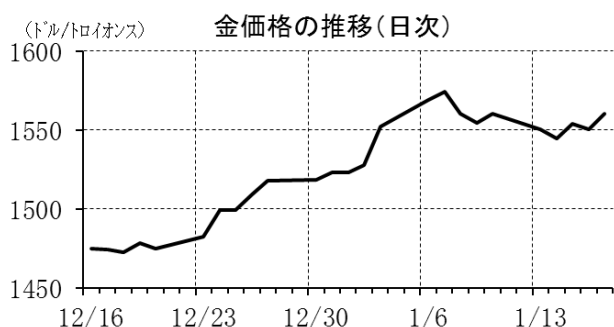
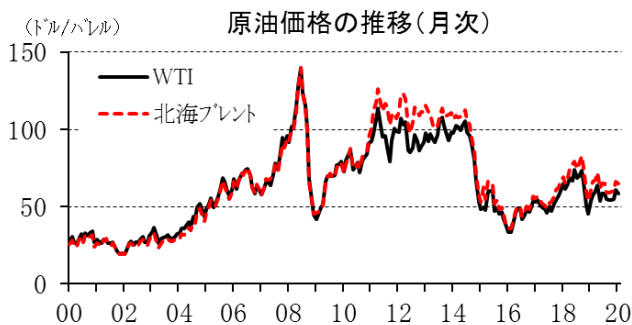
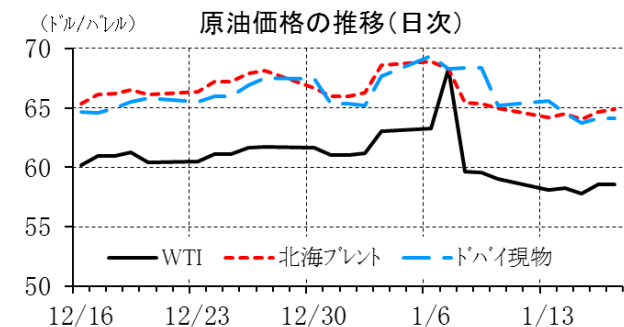
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

